

のう じ でん そう

## 農時電送

水稲 No.①

JA新函館・若松支店  
せたな地区水稲部会

JAきたひやま

北檜山町農協地区水稲部会

JAいまかね

今金町稲作部会

檜山農業改良普及センター  
檜山北部支所 (84-5514)

## 1. 移植時苗形質と育苗管理

早期異常出穂は穂揃いを悪くし玄米品質を低下させる障害です。育苗日数の長期化、苗の老化・徒長が要因になりますので、移植日からは種日を逆算して、適期移植を心がけましょう。中苗・成苗ともに育苗日数は30日が目安です。

移植時 苗形質	※( )は早期異常出穂リスク		成苗ポット	中苗マット
	草丈		10~13cm	10~12cm
	目標 葉数	ゆめぴりか(中)	3.6~4.3葉以内	3.1葉以内
ななつぼし(高)		3.6~4.0葉以内		
育苗管理の 留意点	温度管理		2.5葉期以降は25℃以上としない	
	育苗日数		中生品種は30~35日	

★移植後半の苗質に  
注意してください  
(葉数と日数は下限  
を基準に設定)

## 2. 育苗床土・置床の施肥

育苗前に土壌pH、ECを確認し、適正值(pH4.5~5.0、EC0.2以下)かどうか確認し、必要があれば余裕を持って矯正しましょう。

土壌診断結果		適正值			軽度のリン酸・カリ過多		
区分		中苗		成苗	中苗		成苗
		箱マット	型枠	ポット	箱マット	型枠	ポット
土量	(kg/箱・枠)	5.0	-	2.5	5.0	-	2.5
床土	肥料銘柄	育苗10号	-	育苗10号	S066	-	S066
置床	施肥量(g/箱)	12.5	-	6.3	10.0	-	5.0
置床	肥料銘柄	-	S258	S258	-	S066	S066
	施肥量(g/坪)	-	700	700	-	830	830

※リン酸・カリが蓄積されている場合は硫安等の単肥、またはそれら肥料成分の少ない銘柄を施肥しましょう。

※昨年、リン酸過剰障害(苦土が欠乏し第1葉の先端が褐色に変色)があった場合、苦土入り資材を併せて施肥しましょう。

## 3. 本田施肥

少なくとも3年に1度は土壌診断を実施し、土壌区分と可給態窒素より窒素施肥量を決定し、他の養分を含め、診断結果に基づいた施肥をしましょう。

表 土壌区分および土壌肥沃度に応じた窒素施肥量(目標N/P/K値6.8%以下、全量全層施肥)

目標 収量	土壌区分	土壌肥沃土評価→	檜山北部地区			
			低	中	やや高	高
510 kg/10a	低地土(乾)	可給態窒素(mg/100g)	5.5未満	10.5未満	13.0未満	13.0以上
		窒素施肥量(kg/10a)	8.0	7.5	7.0	6.5
	低地土(湿)	可給態窒素(mg/100g)	4.0未満	11.5未満	14.0未満	14.0以上
窒素施肥量(kg/10a)		7.5	7.0	6.5	6.0	
泥炭土	可給態窒素(mg/100g)	5.5未満	14.0未満	16.0未満	16.0以上	
	窒素施肥量(kg/10a)	6.0	5.5	5.0	4.5	
480 kg/10a	台地土	可給態窒素(mg/100g)	3.0未満	12.0未満	15.0未満	15.0以上
		窒素施肥量(kg/10a)	7.0	6.5	6.0	5.5

(令和2年2月発行 渡島・檜山版ふっくりんこ栽培マニュアルより)

※側条施肥を行う場合、上記表から窒素0.5kg減らし、側条の窒素量は3~4kgが目安です。また、過去の収量やタンパク値に応じて±0.5kgの範囲で、ほ場ごとに調整しましょう。

春の農作業、声かけ合って事故防止を!